

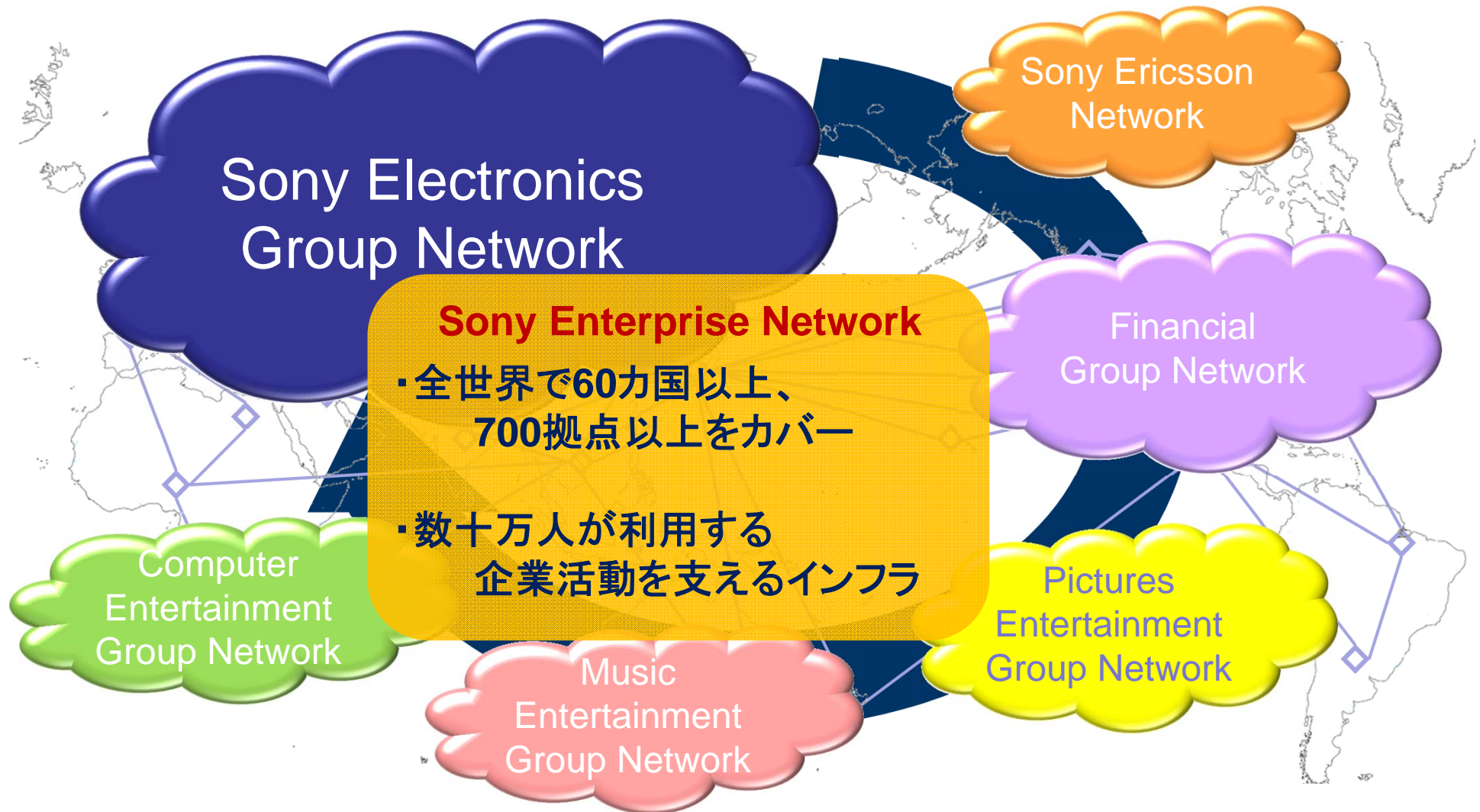
# ソニーの企業ネットワーク におけるIPv6対応

ソニーグローバルソリューションズ株式会社  
ネットワークサービス部  
統括課長  
シニアテクニカルアーキテクト  
IPv6プロジェクトリーダー  
平賀 十志男

2011年8月3日

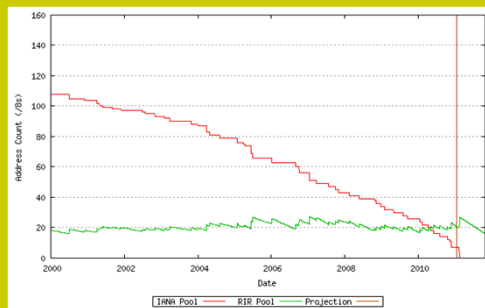
# ソニーのグローバルネットワーク

**SONY**  
make.believe



# ソニーが目指すべき次世代ネットワーク

## IPv4 Address Run-Out



## 今までのネットワークの課題

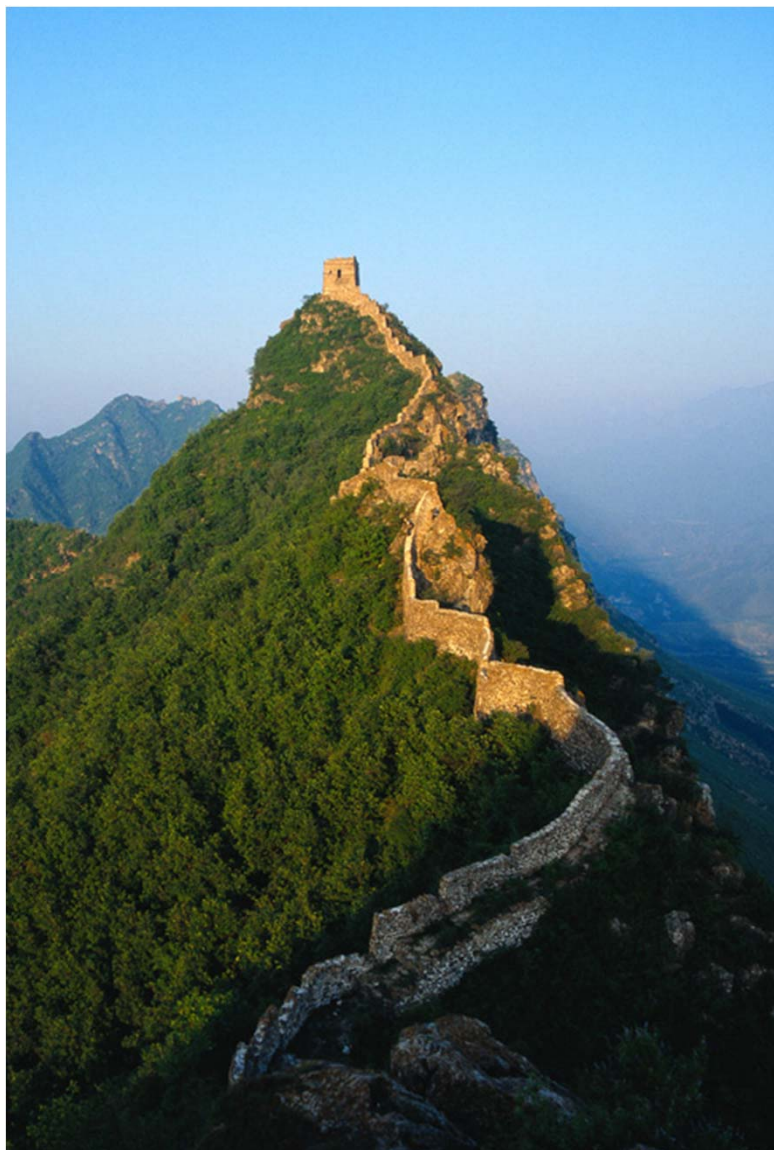
- 企業の合併などによる社内ネットワークの再編成対応 → 多大なコスト・時間 (アドレス変換など)
- ネットワークドメインを越えたP2Pアプリケーションの接続 → 生産性向上の障壁
- 外部サービスの利用 → 利用機会損失 多大なコスト・時間

各オペレーティングカンパニーの連携を  
強かにサポートできるネットワーク

IPv6  
採用決定

時代に合った新しいワークスタイル  
をサポートできるネットワーク

ビジネスの意思決定を俊敏に  
サポートできるネットワーク



## 我々の前に立ちはだかる障壁

### 切替えコストの経営への影響

- ・一斉切り替えによる膨大なコスト
- ・コストのJustify

### 先例・ナレッジがない

- ・オペレーションへの影響を最小限にする  
安全な移行方法

### 実装が進んでいない

- ・パートナーサポート体制
- ・機器のIPv6未対応

### たくさんのステークホルダー

- ・多岐にわたる事業、リージョンのユーザー  
調整

# 実現に向けたソニー流のチャレンジ

SONY  
make.believe



## 我々のSony's Way 障壁

EAアプローチ  
(中長期視点の計画)



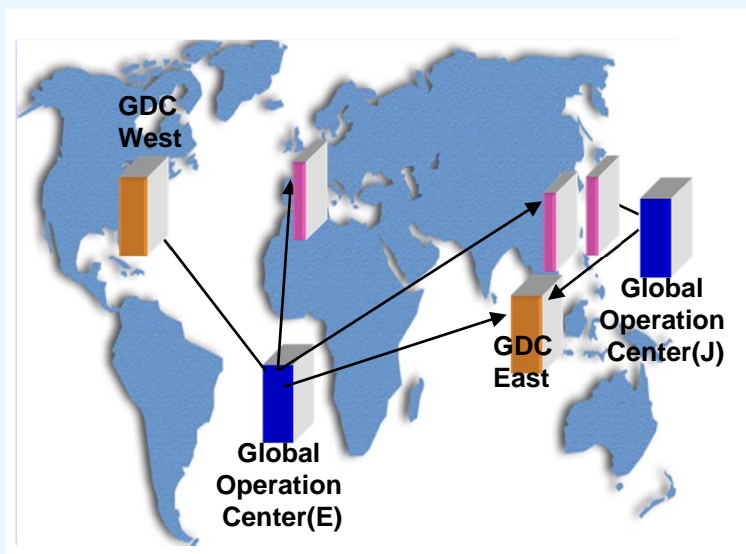
グローバル最適



# グローバル最適

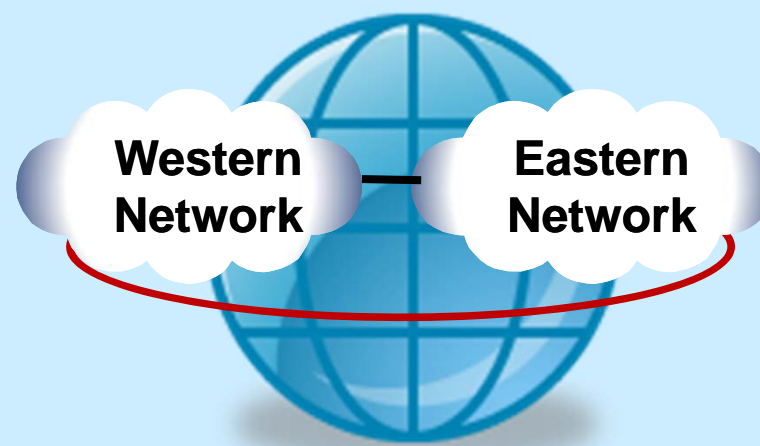
SONY  
make.believe

## グローバルデータセンター (Global Data Center:GDC)



- **東西2拠点に集約**
  - 2011年までのGDC-E移転
  - GDC-Wの設置
- **運用拠点の統合**

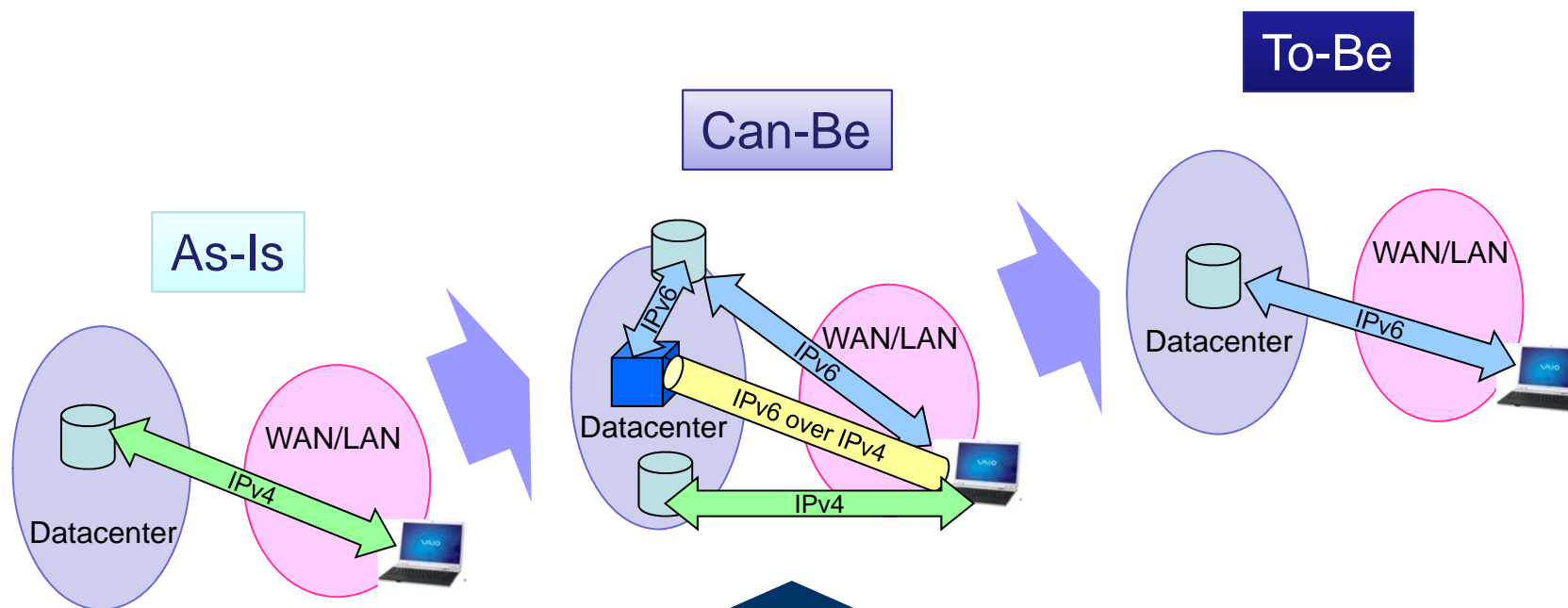
## グローバルネットワーク (Global Network)



- **東西2面に集約**
- **運用体制の統合**
- **IPv6対応**

# EAアプローチ

SONY  
make.believe



## 機器のライフサイクルと連動した 購買プロセスによる順次導入

- ネットワーク機器:  
v4/v6のDual Stackへ
- クライアントPC:  
ソニー標準PCのWindows7化

## データセンター移転と システムの対応の同期

- グローバルデータセンターのIPv6化
- アプリケーションの対応  
パッケージのバージョンアップ  
移転対応との同期

# 移行に向けたステップ

SONY  
make.believe

FY07 FY08 FY09 FY10 FY11 FY12 FY13 FY14 FY15...

## 企画・検証

PJ体制確立  
アーキテクチャデザイン  
移行基盤技術確立  
パイロット導入

## 移行第1段階

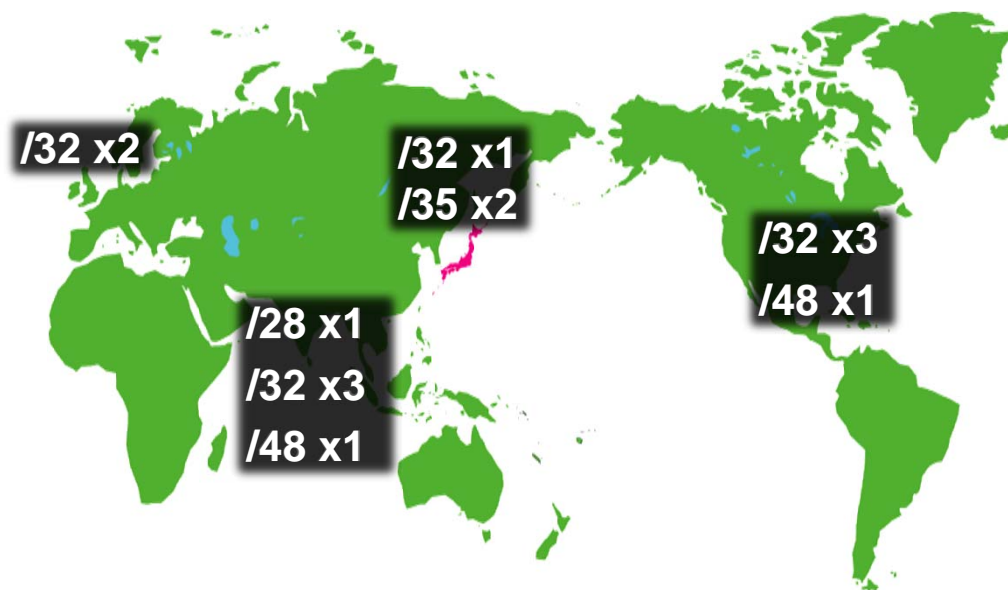
基本インフラサービス  
データセンター  
WAN  
標準PC

## 移行第2段階

LAN  
業務システム  
IP電話/ビデオ会議  
....

v6ネイティブへ

## ソニーのIPv6アドレス



## ソニーポータルサイト

2009/10/1からIPv6でアクセス可能





# World IPv6 Day への参加

SONY  
make.believe



<http://www.sony.net/>  
<http://www.sony.co.jp/>



**SONY**  
make.believe

"Sony" or "make.believe" is a registered trademark of Sony Corporation.  
Names of Sony products and services are the registered trademarks and/or trademarks of Sony Corporation or its Group companies.  
Other company names and product names are the registered trademarks and/or trademarks of the respective companies.